

露國 征伐 戰勝 笑話

骨皮道人

○汽車の沈没
 甲「今年や南瓜の當り年と云ふア、能く
 て知て居らば、南瓜狩りの沈没が當り年と
 来ちやア、餘ッほど変報来の話トもアないか
 まも軍艦が仁川や旅順で沈没したのどう
 せ日本艦隊が強い勢だと思つて居るが
 別に難の狼の首を捻る譯もないのだが
 彼の貝加爾湖の氷の上敷設した汽車
 まが鉄道で武骨く沈没したア、どうした
 氷衰の氷寒やら空とも筋がからないぢ
 やア、いりし、まやア助たがらな以苦よ、全
 体戦争は負けて、見當も方角も附ない癖、
 向ふ水は途氷途鉄もいををするのは、全
 く蒸気の沙汰ぢやアないのだから、汽車も
 一所に泡ア食ふ務りで、気が顛倒したのど
 ろうが、併し、今度の沈没は、いりし、まや
 が、汽車に乗て居る者、いりし、まや、引揚て助け
 たらうか、甲「夫がサ、死官も閉隊もみんな日本
 に恐れ入て居る者、いりし、まや、いりし、まや、
 も、歌も上らば、子も、いりし、まや、いりし、まや、



骨皮道人

